

## 理事長挨拶



長尾 真

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)は、平成16年4月、独立行政法人通信総合研究所(CRL)と認可法人通信・放送機構(TAO)の統合による新たな組織として発足以来、情報通信分野における唯一の公的研究機関として、来るべきユビキタスネットワーク社会を支える情報通信技術(ICT)の研究開発を基礎から応用まで一貫した統合的な視点で行うとともに、情報通信分野の事業支援等を総合的に行うことにより、現在の社会活動の基盤である情報通信の発展において中核的な役割を果たしてきました。

本年報は、このような私たちの研究活動について、平成17年度について取りまとめたものですが、平成17年度は、旧CRL時代の平成13年度からスタートした中期目標期間の最終年度にあたり、これまでの5年間の研究成果についての総括的な意味合いもございます。

平成18年4月から新しい5か年の中期目標期間が始まり、NICTは、より一層、社会に貢献するため、これまでの研究開発内容について、三つの研究領域(新世代ネットワーク構築技術、ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、安心・安全のためのICT)に集約するとともに、研究開発推進のための組織についても大きな見直しを行い、新たな体制で活動を開始しました。

本年報が私たちNICTを理解していただく一助として、さらには、大学、産業界等の関係機関との一層密接な連携に役立つようご活用いただければ幸いに存じます。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。